

一掛硯

巻

一銭箱

巻

(二品目略)

右之通諸道具改相違無御座候以上

文政五年壬午二月十四日

長大な史料から史料保管容器と保管容器になりうるもの、または関連の物品を抜粋した。このなかで帳簿・宗門帳箱は一定量の史料が収納できる明確な史料保管容器であり、新田会所にかんがりの量の史料が蓄積されていたことが窺える。しかし、ここに掲げられている物品は神戸家が表題の通り会所に付け置いたものであって、あくまでも神戸家の所有物なのである。それを端的に表しているのは、「春慶ぬり状箱」に「犬山屋」と書き付けてあることであって、そこに「新田会所」と記されることは決していないのではないだろうか。おそらくは文書も同様であって、会所の所有文書として会所に伝存されていく史料は原理的には存在しないのではないかと今のところ考えている。したがって、本項目に収めたような会所あての出入り商人の通帳の類までも神戸家に提出された可能性が高いのではないだろうか。当館所蔵の神戸家文書が元材木町の神戸家という単一の出所であることを前提とすれば、以上のような考察が成り立つこととなるのである。そのほか、この史料からは、「古帳面」が区別されて長持に収納されていることがわかり、現用文書と非現用文書の区別が明確であったことも知られる。

次の中項目は「土地」である。ここには検地帳と田畑書上帳を収めた。検地帳は新田庄屋あてのものであって、大項目「神戸家／勘定場」のなかの検地帳とは史料性格が異なることに注意されたい。

「農業」という中項目にまとめたものの最初に「薄払帳」がある。これは堤防の薄の代金を小作人ごとに書き上げたものである。堤防の所持者は地主であるため、薄の利用にあたっては地主から購入する形態をとったものと思われる。関連する史料として地主仲間作成の「薄売揚帳」(七二頁下段)がある。

「公儀との関係」では、まず「願書・御用留など」を掲げた。大項目「神戸家／勘定場」にも同様の小項目が存在するが、推定作成者の違い

により区別した。そのほか、「諸役覚帳」は中項目「経営費用」のなかの人足帳（二七七～一八〇頁）に類似するが、内容が陣屋への使いなど領主との関係にかかわる人足帳と見受けられたので、区別してこの中項目に収録した。「調達金」は神戸家が大宝前新田を所有していることに基づく調達金上納にかかわる史料を収めた。

七、神戸彦七・来家太七（江戸町屋敷経営）

本大項目には、江戸霊岸島東湊町の神戸彦七や江戸下舟町家守来家太七が作成し、名古屋元材木町神戸家に送付した史料を主として収録した。最初に「江戸全体」という中項目を置いた。六冊の勘定目録の宛先のうち、神戸道貞は、犬山の鵜飼屋神戸弥左衛門久政のことであり、神戸孫右衛門は元材木町犬山屋二代目当主分左衛門政種のこと、あ三四一八―六の史料の宛先の一人普海と同一人物である。つまり、これら六冊の帳簿の作成者と宛先はほぼ全て同じということになり、犬山の鵜飼屋神戸家も犬山屋神戸家と同様神戸彦七を通じて江戸において町屋敷経営を行っていたことがわかる。

中項目「下船町（小船町）」には、下船町家守来家太七が江戸の神戸彦七を通じて神戸家に送付した「店賃之覚」と町屋敷の様々な普請の入用帳がある。これらの「店賃之覚」に基づいて名古屋の神戸家は中項目「神戸家／勘定場」にいた「江戸下船町店賃帳」を作成するのである（五〇頁参照）。

八、御園町中嶋屋半右衛門／永田善次郎

この項目に収めた史料がなぜ神戸家に残されているのかは、今一つ明確にしない。永田善次郎は、系図によれば、三代目文左衛門大翼の実子で永田家の養子となった人物である。本項目の経営帳簿の作成者として登場する神戸善次郎はこの人物である。御園町中嶋屋半右衛門は神戸

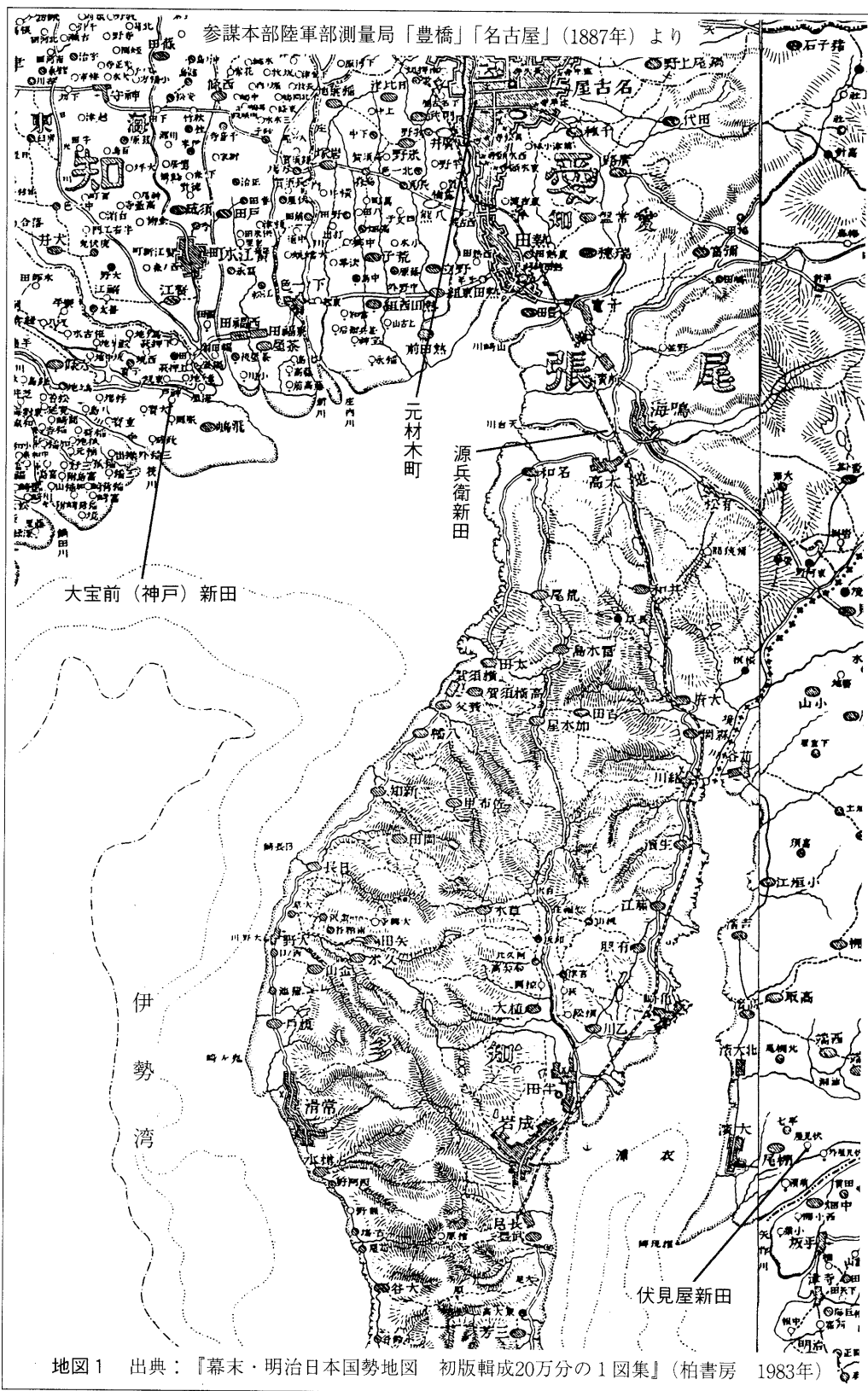
家の経営帳簿から重要な取引先の一つという以上のことは今のところ判明しない。本大項目の有物勘定帳からは中嶋屋と善次郎が共同経営を行っていたことが推定される。また、同時期の神戸家の有物勘定帳（三七頁に収録）の中に中嶋屋と善次郎への経営資金の供与や利益の徴収の記載は見あたらないので、その経営は神戸家の経営とは独立していたと見られる。現段階で判明しているのはこの程度であって、神戸家といかなる関係にあり、なぜこれらの史料が神戸家に伝来したのかを解明することは、目録（その二）以降の課題である。

【参考文献】（著者の五〇音順）

- 安藤正人 「記録史料目録論」『歴史評論』四九七、一九九一年
- 飯尾利夫・小杉正・中村一朗・三宅明彦・安井宮一編 『神戸家文書 御用留』十四山村教育委員会、一九九二年
- 大石慎三郎 「町人請負新田の成立事情―神戸新田（大宝前新田）の場合―」『史学雑誌』六〇―九、一九五一年
- 大藤修・安藤正人 『史料保存と文書館学』吉川弘文館、一九八六年
- 小倉栄一郎 『江州中井家帖合の法』ミネルヴァ書房、一九六二年
- 菊地利夫 「先進地型町人請負新田としての大宝前（神戸）新田の諸問題」（同著『続・新田開発』事例編第十四章、古今書院、一九八六年）
- 喜多村俊夫 「神戸新田に於ける農家と耕地の変遷」『名古屋大学文学部研究論集（史学）』一三・一四、一九六五・六六年
- 同 「間作を廻る土地問題」『名古屋大学文学部研究論集（史学）』一九五七年
- 史料館編 『史料の整理と管理』岩波書店、一九八八年
- 所 三男 「運材中継基地としての犬山―木曾川運材史の一齣―」『徳川林制史研究所研究紀要』昭和四二年、一九六七年
- 同 「近世初期商人による用材生産」『徳川林制史研究所研究紀要』昭和四五年、一九七〇年
- 速見 融 「徳川後期尾張一農村の人口統計―海西郡神戸新田の宗門改帳分析―」『三田学会雑誌』五九―一、一九六六年
- 同 『近世濃尾地方の人口・経済・社会』創文社、一九九二年

水野 潔 「尾州商人神戸家の江戸町屋敷経営」『法政史論』一六、一九八八年

〔付記〕この目録の編成および解題執筆は渡辺浩一が担当し、杜孟珍氏に長期にわたって文書整理を手伝って頂いた。記して感謝申し上げる。神戸家文書の整理に伴う史料調査では、神戸洋子氏に、貴重な系図などを閲覧させていただいたほか、自ら神戸新田に案内していただくなど大変お世話いただいた。また、神戸新田の中村一朗氏には神戸新田の歴史をご教示いただいたばかりか、見学の案内までしていただいた。深く感謝申し上げます。



地図1 出典：『幕末・明治日本国勢地図 初版輯成20万分の1図集』（柏書房 1983年）

地図5 江戸



出典：高橋康夫・吉田伸之編『日本都市史入門』 I. (東京大学出版会 1983年) P181

神戸家系図

神戸弥兵衛家政

〈鵜飼屋〉
神戸弥左衛門常政

道貞
弥左衛門久政

弥左衛門員政

弥左衛門昌雄

①
〈大山屋〉 弥治郎、浄仙
神戸文左衛門安政
正徳2・11・20、73才

松
元文5・2・27、86才

②
弥次郎、孫右衛門、普海
文左衛門正種
元文5・9・8、74才

先
享保8・7・18、52才

某
元禄10・5・29、当才

女子
元禄8・11・3、当才

万
宝永4・7・22、5才

(永田清三郎子)
弥三郎、飛泉、了真

文四郎正峯
享保8・8・20、27才

勝
安永9・2・4、83才

③
(永田清三郎子)
忠藏方、目反
文左衛門大翼
寛保3・4・17、41才

次
享保19・正・8、21才

市
鎌田仁右衛門妻

繁
(弥左衛門員政女)

幾
寛政8・10・3、65才

④
孫右衛門、字六
文左衛門元楽
寛政6・8・10、72才

元礼・永田善次郎
天明6・12・2、60才
(永田清三郎名跡相続)

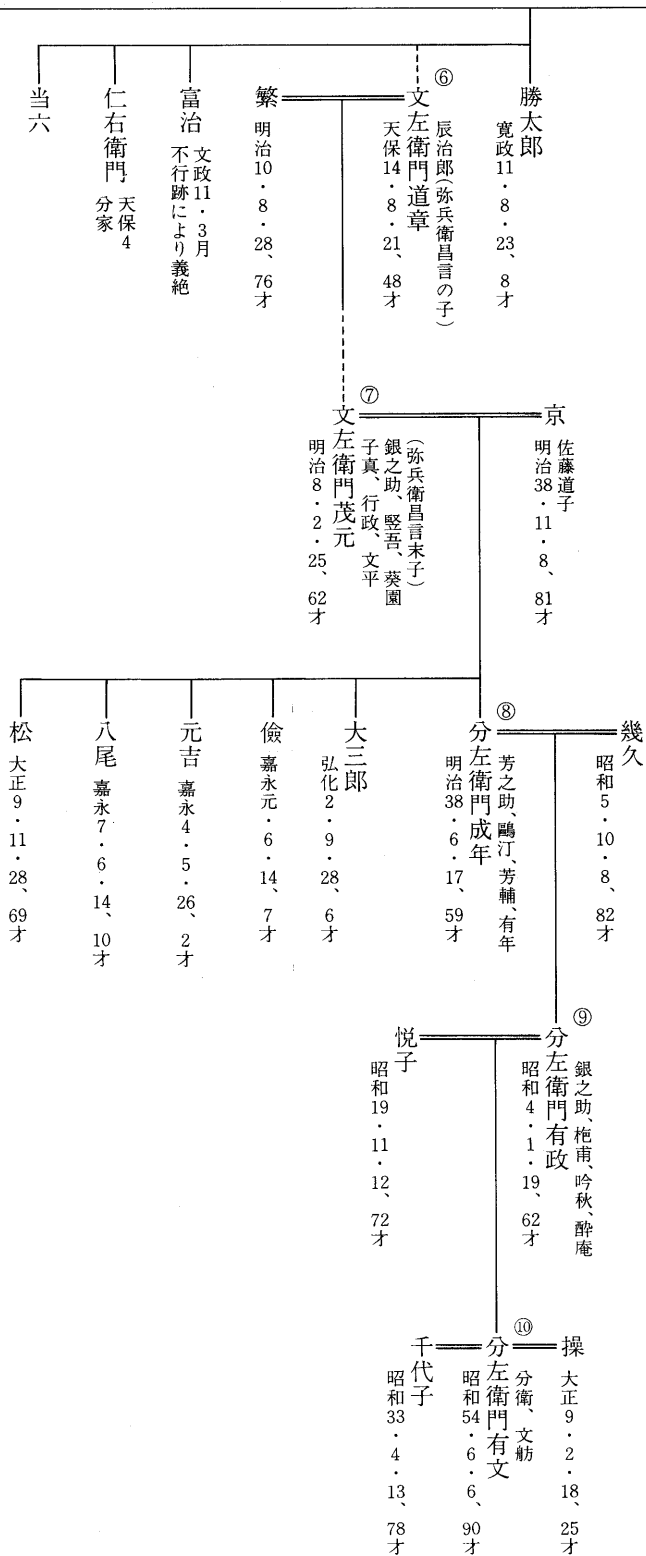
⑤
富治、伊山、孫六
文左衛門惟賢
文政12・正・14、73才

逸
文政2・7・26、50才

神戸彦七信正 (No. 3)

神戸弥市 (No. 3)

弥兵衛昌言 (以下略)



(以下略)

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録（その一）

尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録(その一) 目次

神戸家ノ勘定場	35	頁		
経営全体	35		御用留・触留ほか、御用金・貸上	
金改有金覚帳、有物勘定帳、金出入改、大福帳、金出入帳、小遣帳、蔵出入帳、飯米帳、諸帳簿、奉公人宗門改、職人日雇、経営日記、当座預金	46		由緒書・一件綴など、家計、日記、冠婚葬祭ほか、道中入用、普請、墓所・寺、講	86
金融	46		新田支配人(庄屋)	91
利足帳、家屋敷書入借金帳、指引帳、個別金融、領主金融	49		掬米徴収	91
材木取引	49		米納帳、納米目録、掬米計算	91
江戸町屋敷経営	50		経営費用	94
店賃帳	50		請取勘定帳、入用金請取通、入用金目録、目録勘定帳、諸入用帳、	
名古屋町屋敷経営	50		検見入用、普請見分帳、見分入用、普請入用、蔵納入用、城米納入用、且那樣御出入用、不事入用、見舞入用、神事祭礼入用、役人休泊入用、新田蔵入用、その他の入用、	
大宝前(神戸)新田経営	54		内普請人足帳、人足帳・数船帳	181
開発、初期普請、所々繕人足帳、享保八年普請、検地帳、掬米徴収、地主仲間、経営費用、諸事用留・日記、小作人宗門改、地租改正	84		小作人宗門改	181
公儀との関係	84		宗門改帳、人数増減改帳	187
			小屋・会所	187
			入用帳、通帳、年中出入飯米帳、庄屋場飯米帳、飯米帳、商人ごとの飯米帳	
			土地	199
			検地帳、田畑書上帳、田畑改名帳	199
			農業	200
			薄払帳、水利、防水	200
			公儀との関係	204
			願書・御用留ほか、年貢ほか、諸役覚帳、調達金	204
			神戸彦七・来家太七	210
			(江戸町屋敷経営)	210
			江戸全体	210
			小船町(下船町)	210
			店賃之覚、諸入用	210
			御園町中島屋半右衛門	225
			／永田善次郎	225
			有物勘定帳、諸帳簿	225

尾張国名古屋
元材木町

神戸家文書目録

(その一)

(文書群記号 2412)

神戸家／勘定場

経営全体

金改有金覚帳

寅年暮金改有金覚帳 享保八年正月二〇日	神戸分左衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九六三
辰年暮金改有金覚帳 享保一〇年正月二〇日	神戸分左衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九六四
巳年暮金改有金覚帳 享保一二年正月二〇日	神戸分左衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九六五
午年暮金改有金覚帳 享保一二年正月二〇日	神戸分左衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九六六
未年暮金改有金覚帳 享保一三年正月二〇日	神戸分左衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九六七
申年暮金改有金覚帳 享保一四年正月二〇日	神戸分左衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九六八
酉年暮金改有金覚帳 享保一五年正月二〇日	神戸分左衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九六九

戌年暮金改有金覚帳 享保一六年正月二〇日	神戸分左衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九七〇
(戌年入方金覚・改金覚、九七〇の下帳) 神戸分左衛門 亥正月六日		横長半 (一ツ綴)	一冊	あ九七二
亥年暮金改有金覚帳 享保一七年正月二〇日	神戸孫右衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九七一
(亥年入方金覚・亥暮改金覚、九七一の下帳) 神戸孫右衛門 子正月六日		横長半 (一ツ綴)	一冊	あ九七三
亥暮改金覚(九七一の下帳)		横長半 (一ツ綴)	一冊	あ九七三
子年暮金改有金覚帳 享保一八年正月二〇日	神戸孫右衛門	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ九七二
(子年入方金覚ほか、九七二の下帳) 丑正月六日		横長半 (一ツ綴)	一冊	あ九七四
(未年入方金覚・未暮改金覚) 六日	申正月	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ九七四
(申年入方金覚・申暮改金覚・申暮引置金覚) 酉正月六日	申正月	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ九七四
戌年入方金覚 六日	神戸分左衛門 亥正月	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ九七四
(辰年入方金覚・辰暮改金覚)		横長半 (一ツ綴)	一冊	あ九七三

(巳年入方覚・巳暮改金覚)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四三 上	(子暮勘定有物之覚帳下書) 丑五月	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二一 上
(午年入方金分覚・午暮改金覚) 正月六日	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四三 上	丑暮有物勘定覚(下書カ) (享保一 八年)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二二 上
寅年入方金覚	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四三 上	享保十九年寅暮勘定下書 分左衛門	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二二 上
(酉年入方金覚・酉暮改金覚) 左衛門 戌正月六日	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四三 上	寅暮有物金銀勘定帳 神戸文左衛門	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二三 上
(寅年入方金覚・寅暮改金覚)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四五	卯暮有物金銀勘定帳 神戸文左衛門	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二三 上
寅暮改金覚	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七七三	(卯暮有物勘定下書) 辰正月	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二三 上
酉暮改金覚	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七七三 上	元文元年辰暮有物勘定帳 元文二年正 月改	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二五 上
有物勘定帳				(辰年入方有物勘定下書)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二四 上
戌暮勘定有物之覚帳 神戸忠蔵 享保 一五年一二月	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三〇九 上	(辰年有物勘定下書) (元文二年正月)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二四 上
(戌暮勘定有物之覚帳下書)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三〇九 上	(辰年入方勘定下書) 元文二年正月改	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二四 上
(子暮残金・分左衛門分・書入残・分 左衛門書入・小取替)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三〇九 上	巳暮有物勘定帳 神戸文左衛門大翼	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二六 上
亥暮勘定有物之覚帳 神戸文左衛門 享保一六年一二月	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二〇 上	元文二巳暮勘定(有物勘定下書)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七五〇 上
(亥暮勘定有物之覚帳下書)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二〇 上	午暮有物勘定帳 神戸文左衛門大翼 元 文四年正月改	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二七 上
子暮勘定有物之覚帳 神戸文左衛門 享保一七年一二月	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三二一 上				

未暮有物勘定帳 元文五年正月改	神戸文左衛門大翼 元 横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三三八
元文四年未年入方金差引勘定(三三二一 八の下帳) 元文五年正月改	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七五一 *あ二七五二・二綴
申暮有物勘定帳 元文六年正月改	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三二九
元文五年申年入方金差引勘定(かし金 入方寄・申暮有物勘定 三三一九の 下帳)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七五三
西暮有物勘定帳 寛保二年正月改	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三三二
(酉年入方勘定・西暮有物勘定、三三二 二一の下帳)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四四
戌暮有物勘定帳 寛保二年正月改	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三三〇
(寛保二年戌之入方金指引勘定・戌暮 有物、三三二〇の下帳)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四七
亥暮有物勘定帳 寛保四年正月改	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三三三
(寛保三年亥年之入方金銀指引・亥暮 有物、三三二二の下帳)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四七
子暮有物勘定帳 延享二年正月改	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三三三
(延享元年子年入方差引・子暮有物、 三三二二の下帳)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四五
丑暮有物勘定帳 延享三年正月二八日改	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三三四
丑年入方金指引(三三二四の下帳)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四九
卯暮有物勘定帳 延享五年一月	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三三五
(卯年入方覚・卯暮有物覚、三三二五 の下帳)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四五
辰暮有物勘定帳 神戸分左衛門元楽 寛延巳(二)年正月(寛延四年二月七日)	横長美 (一ツ綴)	一冊	あ三三六
(辰年入方覚・辰暮有物覚・借金有物、 三三二六の下帳)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四六
巳暮有物勘定帳 神戸分左衛門元楽 寛延三年正月	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三三七
午暮有物勘定帳 神戸分左衛門元楽 寛延四年正月	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三三八
午年入方稿(入方覚・借金方覚・午暮 有物、三三二八の下帳)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四八
未暮有物勘定牒 神戸文左衛門正武 宝曆二年正月(宝曆二年二月七日 書写)	横長美大 (一ツ綴)	一冊	あ三二九
申暮有物勘定帳草稿 神戸文左衛門元 楽 宝曆三年正月	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三〇
(午年入方分・午暮有物・除金覚)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七四四
未年勘定帳草稿	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三一
西戊子三年勘定草稿帳	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三三

付弁羊草稿 (有物勘定帳草稿)	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三三三	大福帳 貞享五年正月 (元禄二年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四一
味噌高勘定 (有物勘定)	横長半 (二ツ綴)	一冊	あ三九三	大福帳 神戸宗助 元禄七年二月 (元禄八年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四二
(小道具代など差引勘定書付)	横切継紙	一通	あ三九三	大福帳 神戸宗助 元禄一五年正月 (元禄一六年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四三
金出入改				大福帳 (後欠) 元禄一七年正月 (宝永二年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四五
金銀出入改覚帳 神戸分左衛門 享保一一年正月 (元禄一八年)	横長半 (二ツ綴、かぶせ)	一冊	あ二五四三	大福帳 / 金入帳 元材木町神戸分左衛門 元禄一七年正月 (宝永四年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四四
金銀請払勘定帳 神戸忠藏 享保一六年正月 (元禄一八年)	横長半 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ二七八四	大福帳 (付、子丑寅伏見屋新田入用金渡覚) 宝永三年正月 (宝永七年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四六
普海様より受取金覚 戊正月六日	横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七八四	大福帳 宝永五年正月 (宝永七年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四八
(金高書付)	横切紙	一通	あ二七八四	大福帳 / 金銀出入帳 元材木町神戸分左衛門 宝永五年正月 (宝永四年、宝永六年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四七
金銀請払勘定帳 神戸文左衛門 享保一八年正月 (元文元年)	横長半 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ二七〇二	大福帳 正徳三年正月	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇三八
金銀請払勘定帳 神戸分左衛門 元文二年正月 (元文三年)	横長半 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ二九六一	大福帳 (付、大宝新田普請入用未年渡ス覚・分四郎買米入用金取替覚) 正徳四年正月 (享保元年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇三九
金銀請払勘定帳 神戸文左衛門正武 寛延元年 (宝暦元年)	横長半 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ二九六八	大福帳 (付、大宝新田入用出金覚) 正徳四年正月 (享保元年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四九
大福帳 天和二年正月	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇三三	大福帳 享保二年正月 (享保三年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇五〇
大福帳 貞享二年正月 (貞享四年)	美 (列帖綴)	一冊	あ二〇四〇	(油荏代差引勘定書付)	横切紙	一通	あ二〇五〇

(米ニ而有金・年頭金高書付)

小切紙 一通 あ1050

大福帳 享保(三)年正月(〜享保五年)

(列帖綴) 一冊 あ1034

大福帳 享保四年正月

(列帖綴) 一冊 あ1035

大福帳 享保五年正月(〜享保六年)

(列帖綴) 一冊 あ1036

(元金利息書付)

横切紙 一冊 あ1036

大福帳 享保七年正月(〜享保八年)

(列帖綴) 一冊 あ1037

大福帳 享保九年正月(〜享保一一年)

(列帖綴) 一冊 あ1038

大福帳 享保一二年正月(〜享保一四年)

(列帖綴) 一冊 あ1039

大福帳 享保一五年正月(〜享保一九年)

(列帖綴) 一冊 あ1040

(寅暮勘定書) (享保一九年)

横切綴紙 一通 あ1041

大福帳 享保一八年正月(〜元文元年)

(列帖綴) 一冊 あ1042

大福帳 享保一〇年正月(〜元文元年)

(列帖綴) 一冊 あ1043

大福帳 元文二年正月(〜元文五年)

(列帖綴) 一冊 あ1044

大福帳 元文六年正月(〜寛保三年)

(列帖綴) 一冊 あ1045

大福帳 寛保四年正月(〜延享二年)

(列帖綴) 一冊 あ1046

大福帳 延享三年正月

(列帖綴) 一冊 あ1047

年々大福帳写 元文二年正月(享保九、明和三年)

横半半 (列帖綴) 一冊 あ1048

金出入帳

金出入帳 神戸分左衛門 元禄一二年正月

横長美 (下げ二ツ目綴) 一冊 あ1049

金出入帳 神戸分左衛門 享保一二年正月

横長美 (下げ二ツ目綴) 一冊 あ1050

金出入帳 神戸分左衛門 享保一八年正月

横長美 (下げ二ツ目綴) 一冊 あ1051

金出入帳 神戸分左衛門 元文五年正月

横長美 (下げ二ツ目綴) 一冊 あ1052

金出入帳 神戸分左衛門 元文六年正月

横長美 (下げ二ツ目綴) 一冊 あ1053

金出入帳 神戸分左衛門 寛保三年正月

横長美 (下げ二ツ目綴) 一冊 あ1054

金出入帳 (神戸分左衛門) 天保一二年正月

横長美 (下げ二ツ目綴) 一冊 あ1055

金出入帳 神戸分左衛門 天保一三年正月

横長美 (下げ二ツ目綴) 一冊 あ1056

金出入帳 神戸分左衛門 天保一四年正月

横長美 (下げ二ツ目綴) 一冊 あ1057

金出入帳 神戸文左衛門 天保一五年正月 横長美 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ八五七	十四年辛巳金入之記 (明治一四年) 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七一
金出入帳 神戸文左衛門 弘化二年正月 横長美 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ八五八	十五年壬午仮帳 (明治一五〜一八年) 横長半 (一ツ綴)	二冊 一綴	あ二七一
金出入帳 神戸文左衛門 弘化三年正月 横長美 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ八五九	十六年癸未入之記 (明治一六年) 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ七五四
金出入帳 神戸文左衛門 弘化四年正月 横長美 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ八六〇	金出入仮帳 明治一九年一月 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三九三
金出入帳 神戸文左衛門 弘化五年正月 横長美 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ八六一	金出入仮帳 明治二〇年一月 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三九四
金出入当分覚帳 弘化五年正月 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二五七	廿一年金出入仮帳 神戸 (明治二二年) 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三九五
金出入帳 神戸分左衛門 子 横長美 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ八五二	(金出入仮帳) (九月一日〜二四日) 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三九五
金出入帳 神戸分左衛門 (辰・巳) 横長美 (下げ二ツ目綴)	一冊	あ八五三	廿二年金出入仮帳 神戸 (明治二三年) 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三九六
明治十年丁丑年盆前分払方書抜 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ七八三	戊年元帳之分覚 (酉之覚) 明治二四年三月二八日 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七五九
明治十一年寅年勝手取換書抜 (明治一〜二二年) 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ七八三	金出入仮帳 明治二五年一月 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三九七
第貳号十二年巳卯金出入仮帳 神戸知水記 (明治一〜二二年) 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三九二	戊年入之覚 (出之覚) 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七五七
※明治十二年八右衛門新田入費取替之覚 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ三九二	第貳号入之記 / 第二号出之記 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七五八
十三年庚辰金入之記 (出之記) (明治一三年) 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ七五六	巳年出入仮仕分帳 横長半 (一ツ綴)	一冊	あ二七六三